

381系〈パノラマしなの〉、

展望グリーン車だけじゃない

クハ381も見してほしい。



※画像は設計中の製品をもとに作成したイメージです。



設計を再吟味

クハ381 0番台は
より実感的な前面形状に



※画像は設計中の製品をもとに作成したイメージです。



写真：西澤邦英 協力：東京堂科学模型教材社 JR 東海承認申請中

N

381系〈パノラマしなの〉(登場時仕様)

10-1690 6両基本セット
10-1691 3両増結セット

個性的なスタイルに心躍った「パノラマしなの」の登場時仕様を製品化

特急「しなの」は名古屋～塩尻間の中央西線を走破し、長野へ足をのばす列車です。昭和48年(1973)の中央西線全線電化とともに381系電車が導入されました。昭和63年(1988)には短編成化と増発が実施され、先頭車がグリーン車の組成に変更されました。その際に3両が先頭車化改造により前面眺望を楽しめるパノラマグリーン車となり、以後「しなの」のフラッグシップ的存在として平成20年(2008)まで活躍しました。

プロトタイプは昭和63年(1988)頃の神領電車区所属車。**床下機器が黒色で大形で橙色のJRマーク、Hゴム灰色の外観を再現**いたします。クハ381 0番台は前面形状をより実感的なスタイルに見直します。KATO独自の車体振り子機構搭載です。

セット構成・編成例



トレインマークについて

- ・クハ381…「しなの」が取付交換用に「シュプールつがいけ」「臨時」が付属
- ・クハ381…トレインマーク変換装置「しなの」「シュプールつがいけ」「シュプール梅池・八方」「臨時」